

企業の不正対策の制度設計と不正対応活動

「内部監査実務マスター・コース」〔第4回開催分（全9会合）〕

- 日 時 ● 2016年12月15日（木）14:00～17:00
- 会 場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講 師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人

30年余りの大手監査法人勤務のうち、前半は主に会計監査に従事し、後半は国内外の数多くの企業に対する内部監査の支援やコンサルおよび外部評価、J-SOX・US-SOXの内部統制支援、不正調査およびリスク管理等のアドバイザリー業務の経験を経て、2012年、新日本有限責任監査法人シニア・パートナーを退任し、現在はUDトラックス株式会社監査役/ABボロボのコーポレートオーディット・ダイレクターとして監査実務を継続中。一方で内部監査関連の執筆や講演活動にも従事、豊富な実務経験をベースに具体的事例を交えた実践的でわかり易い語り口で好評。最近の著書「内部監査の課題解決法20」税務経理協会、論文「海外監査の検討課題～成熟度レベルに応じた問題認識と対応」一般社団法人日本内部監査協会「月刊監査研究」2013年11月号、「リスクマネジメントに対する内部監査の対応～最適化シナリオに向けて」同2012年3月号掲載。公認会計士、公認内部監査人、米国公認会計士（現在 inactive）。

●プログラム●

●講義／企業の不正対策の制度設計と不正対応活動 <14:00—16:00>

大手企業の不正事件が相次いで報道される中、内部統制が整備された大企業でなぜ不正が起こるのかという疑問の声が上がっています。そこで必要とされるのは企業組織における不正対策の制度の在り方をゼロベースで見直し、内部監査をはじめ関連部門の役割や活動の方向を見定めることです。

内部監査としては不正調査や不正リスク評価などへの守備範囲の拡大に備え、内部監査においても不正リスクにフォーカスした不正監査の方法あるいは通報制度や事業部門・子会社におけるガバナンスや企業風土を対象とした監査への対応能力も身に付ける必要があります。今回はマクロ的な制度設計からミクロ的な現場の活動まで不正対策の全貌に迫ります。

1. 企業の不正対策の制度設計を考える

- ・不正リスクとコントロール・ガバナンスとの関係 —マクロとミクロで考える不正対応
- ・企業の不正対策の考え方と実務展開

2. 制度を動かす不正対策活動の実務のポイント

- ・ほとんどの企業ができていない不正リスクの評価の現実的な進め方
- ・内部監査による不正リスク対応
- ・不正調査、通報対応、不正調査後の内部統制のレビュー

●講義をベースとしたディスカッション&総括コメント <16:00—17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	28,080円	一般	31,320円
-----	---------	----	---------

[本体価格 26,000円 本体価格 29,000円]

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者のご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（社） 企業研究会

担当）居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951～2

160188	2016 12/15 内部監査実務マスター・コース		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

※裏面もご覧ください